

17. ヒカゲチョウ 4♂3♀ 神社の境内に多かった。
 18. ヒメウラナミジャノメ 神社の境内で目撃。
 19. イチモンジセセリ 7♂4♀ 多かった。
 20. チャバネセセリ 1♂1♀ イチモンジセセリに混じって見かけた。

以上20種であるが、外にも天神鼻の崖を飛ぶ、翅裏の褐色のシジミを目撃している。

又、他の昆虫では、ツクツクボウシやクマゼミといったセミや、甲虫ではカブトムシ、ヨツスジトラカミキリといったものを、採集、目撃している。

クロカタビロオサムシ六甲山系に産す (兵庫県甲虫相資料 . 76)

高橋寿郎

兵庫県におけるクロカタビロオサムシの産地は従来川辺郡猪名川町、川西市笹部、大和、横地の武庫川以東と、揖保郡、相生市三湊山、佐用郡大撫山、大願寺、養父郡関宮町の県西部部に産することが知られていて中央部あたりでの記録が全く無く個体数のそう多くない種類であった。尤も Bates は 1873 年 Hiogo を記録しているので神戸はその意味では古くからいたことになるようである。六甲山系での詳しい産地は今迄全く知られていなかったが筆者は 1980 年 5 月 12 日、神戸市兵庫区鳥原貯水池畔の道路上を歩行中の 1♂ を採集した。この地域では 40 年近く調査しているが 1 度もお目にかゝったことがなかった。周辺の環境は良いのでまだまだいそうである。

ホソツツタマムシ神戸市内に産す (兵庫県甲虫相資料 . 79)

高橋寿郎

ホソツツタマムシ *Paracylindromorphus japonensis* を 1980 年 6 月 23 日神戸市垂水区押部谷町木見(神戸市自然歩道 "太陽と緑の道" の内第 10 地区・木津から仏谷に致る道) でスキの葉上に止ま

っている1頭を採集した。もっとあたりを注意深く探せば他にもいたのかも知れないが本種であることが帰宅後わかったもので非常に残念なことをしたと思っている。機会があれば再調査に行きたいと思う。本種の兵庫県下の記録は山本義丸氏による氷上郡があるだけである(詳しいデータは無い、1958)。その意味からすれば珍種ということになると思われるが何分小さい種で今迄見落されていたことも充分考えられ、また記録されていないだけで採集された未発表記録があるように思われ追加報告を待ちたいと思う。現地は平地に近い状況の所で恐らく神戸市内のみならず県下に広く分布しているのではないかと思う。原色で図説されているが(黒沢、1968)、実際には非常に小さく可成り注意しなくてはならない種である。ススキの茎を食べ、アレチノギクなどいろいろの植物の葉上で見つかることが多いとある(黒沢、1975)。

ミヤマカラスアゲハ・ナガサキアゲハ 神戸市内における記録

高橋 寿郎

ミヤマカラスアゲハに就いての従来の六甲山系の記録は前号にまとめたが、今回それ以外の記録があるので報告しておきたい。また1980年8月下旬から9月上旬にかけてナガサキアゲハの神戸市内での採集、目撃記録が大変多いのでこれ等もまとめておきたい。

両種の貴重な記録の発表を赦された小林桂助・蜂谷幸雄・川本 明の諸氏に心より厚く御礼申しあげる。

ミヤマカラスアゲハ：東灘区岡本(甲南大学裏山)，1♂，1969年9月初旬，蜂谷氏採集。兵庫区新開地2丁目(ラッキーボール店正面ウインド)，1♀，1977年8月22日，蜂谷氏採集。鳥原貯水池畔，1♂，1980年5月28日，高橋採集。北区鈴蘭台，1♀，1980年9月3日，1♂，1980年9月9日，川本氏採集他に1♀と♂数頭目撃。藍那東部，1♂，1♀，1980年9月3日，1♂，1980年9月9日，川本氏採集，他に藍那小学校付近と藍那～小川間で1980年9月9日各1♂が目撃される。須磨区須磨浦，1♂，1974年9月6日蜂谷氏採集。

ナガサキアゲハ：東灘区岡本(甲南大学裏山)，1♂，1970年8月子供が虫カゴの中に入れていたのを目撃(蜂谷氏)。灘区六甲登山口，1♀，1979年7月15日，1♀，1980年9月4日